

# わいわい 通信



梅から桜へと移り、野山が萌える季節となりました。年度替わりの時期でもあり、最初の1年、最終の1年を迎えた人も多いと思います。当法人でも設立当初から事業運営を牽引した溝口弘さんから、中川豊さんへ理事長をバトンタッチしました。“地域で共に暮らし共に働く”という共生・水平の考えを受け継ぎ、この4月施行の差別解消法がめざす社会に近くよう、実践を続けていきたいと思ひます。

## お品書き

- グループホーム
- あったかほーむ
- くらしカフェ
- 余暇利用
- 環境保全

## あんしん なっとく じゅうじつ の生活



### NPOの活動報告

- 11月 3日 法人内初任者研修会 (12日17日28日)
  - 11月13日 第4回理事会
  - 11月20日 ホーム長会議 (月1回定例)
  - 11月29日 井の元川清掃活動
  - 12月20日 わいわい運営推進会議
  - 1月 2日 日帰り旅行 (3日ゆったり組)
  - 1月 8日 第5回理事会
  - 1月30日 合同新年会 (レストラン潮)
  - 2月 5日 労働基準監督署調査 (GWわいわい)
  - 2月 8日 役員研修会 (成年後見制度)
  - 2月21日 コンサート打合せ
  - 2月21日 第6回理事会
  - 2月28日 相談支援の関係者打ち合わせ会議
  - 3月22日 第7回理事会
  - 3月30日 あったか映画会
- 月1回 ホームホート会議、わいわい運営会議

**募集中**

わいわい日中ボランティア。  
時間：おまかせ。  
月1回でもかまいません。  
お話相手、散歩・買い物  
などなど。



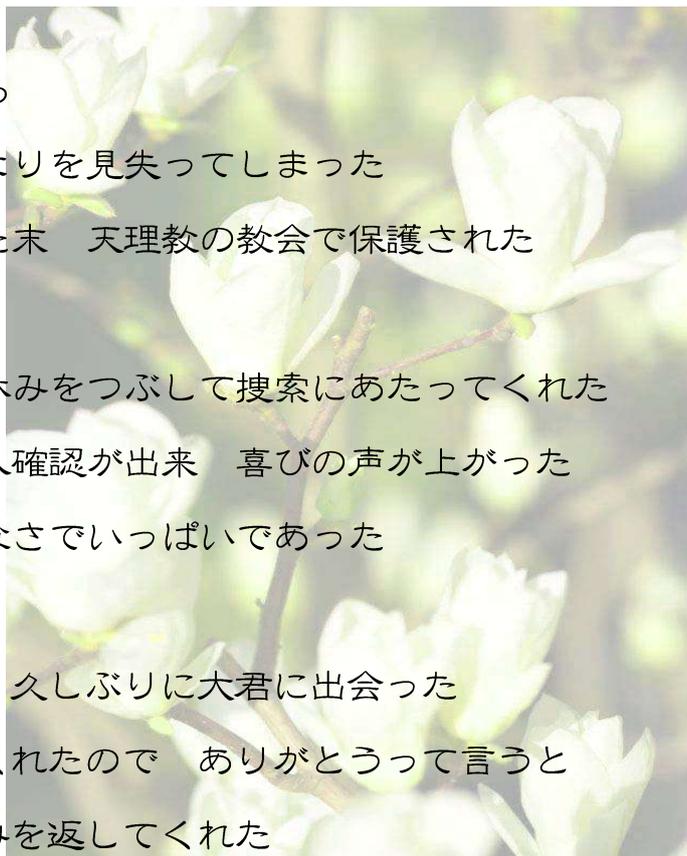
お問い合わせ グループホームわいわい事務局 TEL/FAX 0748-77-5741  
NPO本部事務局 TEL 0748-60-2903 FAX 0748-60-2907

## “モクレン”

春の雨に 白いモクレンが散る  
己の過信 慢心から おとしよりを見失ってしまった  
一昼夜飲まず食わず歩き続けた末 天理教の教会で保護された

地元消防団ほか多くの方が 休みをつぶして捜索にあたってくれた  
4月3日（日）11時15分 本人確認が出来 喜びの声が上がった  
張本人の己としては 申し訳なさでいっぱいであった

翌朝 本社のミーティングで 久しぶりに大君に出会った  
大君の父親も捜索に参加してくれたので ありがとうって言うと  
白い歯を見せて いつもの笑みを返してくれた



私こと溝口 弘は、2016年3月31日を以て、NPOワイワイあほしクラブの理事長を退任致しました。

実質33年間に渡るリーダーを務め得たのも、住人や入居のみなさんのあたたかいお心遣いと、会員、役員、スタッフのみなさんのお力添えがあったからこそです。

特に、理念や運営方針をめぐっては、私がかなり強引だったことは事実です。

自分らしさを貫いた半面、多くの人たちを傷付けました。

深くお詫びを申し上げます。

今後は、新しいリーダーの中川を中心に、より充実したNPO活動をめざして行きますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

なお、長きに渡ってこの「わいわい通信」のエッセー枠をいただいて参りましたが、今回で終了となります。

先般、これまでの掲載分などをまとめた「街の茗荷村」を発刊いたしましたので、ご入用の方は事務局にご一報頂ければ幸いです。

本当に、ありがとうございました！

（溝口 弘）

## 『やりがい』と『感謝』

グループホーム南花 夜勤スタッフ 福岡 秀夫

グループホーム南花には、男性5名、女性2名の併せて7名の方が暮らしていますが、数名の加齢化に伴う身体機能の低下などから、常時の見守りが必要となり、昨年の5月から、従来の夜間における宿直ボランティア体制が改められて、3名の夜勤スタッフが配置され、24時間すべてにスタッフが支援に入る体制が敷かれています。

夜勤とは、21時から翌朝9時までの勤務を指し、仕事内容は、夜間から早朝にかけての住人さんの見守りが中心で、その他に自力での着替えが困難な人の介助、自力でトイレに行くことが困難な人の介助、朝に仕事へ行く人やデイサービスに行く人の送り出しなどがあります。

しかし、当然のことながら、いつも順調にいくわけではありません。仕方のないことですが、時折、住人さんの体調が悪く身体介助に時間を費やしたり、住人さん同士のトラブルなどがあり、上手く支援できず、解決できないまま時間が過ぎることもあります。

また、夜勤に限ったことではありませんが、健康面に不安のある住人さんもいるので、体調が急変した時の対処を、間違えないようにしなければならないというプレッシャーがあります。

幸いその場合には委託している訪問看護ステーションが、電話で相談に応じ、対処の仕方を教えてくれる体制が整えられており、ある程度は安心ですが、やはり不安は残ります。

このように書くと、困難なことばかりと思われそうですが、そんなことはありません。

住人さん同士のトラブルも、互いに謝るなどして住人さん同士で解決されていることも多く、その絆の強さに喜びを感じてうれしくなります。

また、介助中嫌がりながらも、時々「にっこり」笑ってくれる人、着替えの介助中「寒いなあ」といいながらも「ありがとう」といつてくれる人、職場から迎えに来たバスに乗り出勤する際に、「いってらっしゃい」と手を振ると笑顔で手を振り返してくれる人、率先して、食器の片づけやごみ出しをしてくれる人、挨拶をきちんとして、握手まで求めてくれる人、淡々と出勤準備をして、出勤の時に声をかけるとたくさん話をしてくれる人、ホームのことをいろいろ教えてくれる人がいて、やりがいを感じると同時に、感謝の気持ちも芽生えます。

こういう素晴らしい住人さんのためにも、私たちスタッフは、ホームが住人さんの安らぎの場となるとともに、その人らしい暮らしができる場となるよう、これからも全力で取り組んでいきたいと思ひます。

# グループホームわいわい ～ほっこり・につこり～

## 寄り添うカタチ

私事ですが、少し前に足の手術を受け、しばらく杖が手放せなくなりました。環境が変わった訳ではないのに、自分の身体の状態が変わったことで、ほんの少しの段差や斜面に躓(つまず)く怖さを感じるようになりました。



ある時、杖を使用されているおとしよりに「あんたも杖ついてるんか、大変やな。」と声をかけていただきました。「正直、邪魔に思うことも多いです。とはいえ無いと歩けないのでとても不便です。」と返すと、「そやねん! 歩けるつもりやけどな、有ると無いでは違うわな。」と話してくださいました。

歩ける“つもり”。周囲から「足が悪い人・転けると危ない人」というレッテルが貼られた途端、



それらの印象がその人を襲ってしまいます。

私はよく、「若いのに可哀そうに」と言われます。おとしよりは「もう年やから仕方ない」と言われるそうです。

違いは何でしょう。年齢が理由でしょうか。

特別扱いをしてほしいのではなく、加齢や病気によって出来なくなったことへのもどかしさや悔しさを理解した上での配慮がほしい。実際の状況とご本人の視点が大きく違うこともあるということ、できる・できない・したい・したくないだけでない複雑な心境の間におられること、自分が今の状況になって、ようやく気が付きました。

会話の終わりには、「(杖をもっていることに対して)お揃いや」と言ってくださいました。本当の意味での共感ができたように感じ、嬉しく思いました。

人生の大先輩。お一人おひとりが、現状に何を思い、何を望まれているのか、寄り添うカタチを改めて考える今日この頃です。

( 管理者 山本 菜々美 )



当法人理事で次世代のホープ 杉田さん（NPO 法人縁活理事長）プロデュース

いらっしやいませ！

オモヤ★キッチンへようこそ



2015年3月から栗東市霊仙寺にてオモヤ☆キッチンがオープンしました。そこではおもやの自然栽培の野菜、近隣農家さんの野菜をふんだんに使った気取らない近所の食堂です。

ランチメニューはお肉と魚から選ぶ日替わり定食、野菜の旨みを引き出したカレー、自家製トマトソースのドリアから選べます。

金、土曜日の晩はヨルのオモヤ☆キッチンも！そこは野菜メニューだけでなく、肉や魚の一品メニューがたくさんあり、もちろんお酒も充実しておりますよ。こんなお店が近所にあることは本当に幸せ。

少しかけ補足します。オモヤ☆キッチンは作業所になります。

ここで大切にしていることは『みんなでお客様に最高のサービスを提供することです。』

本日も最高のサービスをお届けします。

昼も夜もオモヤキッチンでお待ちしております！

杉田 健一



#### インフォメーション

＜あぼし相談支援センター＞ この4月にオープンしたセンターでは、障がいのある人の福祉サービス利用や障がい児の通所サービス利用の相談に応じて、利用計画案を作ったり、関係機関との調整を行います。社会福祉士のスタッフ3名体制で、当面は、地域の福祉サービスの状況を調べたり、既に相談支援を初めている事業所で研修を受けるなど、基礎的な情報の蓄積とスタッフの力量を高めることから始めます。一日でも早く、地域の皆さんから信頼される相談支援事業所となるよう努めてまいります。

[NPOワイワイあぼしクラブ 関連事業所の住所・連絡先]

●**あったかほーむ いしべ宿 (しゅく)**

〒520-3107 湖南省市石部東七丁目5番9号

TEL/FAX 0748-77-6723

E-mail: npowai@ex.bw.dream.jp



●**高齢者グループホーム わいわい**

〒520-3107 湖南省市石部東七丁目5番25号

TEL/FAX 0748-77-5741

E-mail: gh-waiwai-shiga@gaia.eonet.ne.jp



●**障がい者グループホーム すずらんホーム**

〒520-3108 湖南省市石部南七丁目9番20号

TEL/FAX 0748-77-4274

E-mail: qpmx33521@nike.eonet.ne.jp



●**障がい者グループホーム ホワイトハウス**

〒520-3108 湖南省市石部南六丁目9番29号

TEL/FAX 0748-77-3130

E-mail: pskm67097@ares.eonet.ne.jp



●**障がい者グループホーム 南花 (さざんか)**

〒520-3108 湖南省市石部南五丁目4番4号

TEL/FAX 0748-77-4791

E-mail: wac-sazanka@dream.jp



●**障がい者グループホーム Myほーむ**

〒520-3108 湖南省市石部南五丁目5番36号

TEL/FAX 0748-60-1157

E-mail: vpkv25205@ares.eonet.ne.jp



●**くらしカフェ (ほっと館)**

〒520-3107 湖南省市石部東二丁目1番36号

TEL 0748-60-2906 / FAX 2907

E-mail: wac-info@dream.jp



●**サポートセンター・本部事務局 (ほっと館)**

〒520-3107 湖南省市石部東二丁目1番36号

TEL 0748-60-2903 / FAX 2907

E-mail: (SP) wac-sprtc@dream.jp (本部) honbu-saport@dream.jp



<旧医師住宅>GHわいわいの隣にある湖南省の旧医師住宅を活用して、地域のお年寄りや障がいのある子ども達の新しい居場所として、また、GHわいわいや相談支援のスタッフの活動場所として多目的に使うための準備を始めています。これまでも市民の皆さんや市当局から様々な応援をして頂いていますが、地域づくりのお役に立てる小さな拠点となるよう努めてまいりますので、引き続きのご支援、よろしくお願いいたします。

<編集後記>木蓮の花言葉「崇高」「自然への愛」「持続性」。まだ肌寒い初春に強く咲く姿から付けられたそうです。今回溝口さんの原稿が最終回となり寂しいですが、木蓮のように力強く、開所当初から貫かれた理念は忘れず受け継いでいきたいと思えました。溝口さんの原稿のファンでもありました。ありがとうございました。(みつい)

<お願い>  
会員の皆さまへ。ひき続き、新規加入者(正会員・賛助会員)のご紹介および、今年度の会費の納入をよろしくお願いいたします。